

## 6月21日：外国人投資家の売りに押され、VN指数は反落

外国人投資家による売り越しはホーチミン、ハノイ両市場で1兆ドンを超え、マーケットの重しとなり、週明けのVN指数は反落した。

ホーチミン市場のVN指数は0.37%（5.14ポイント）安の終値1,372.63ポイントだった。同指数は先週1.93%上昇していた。

値下がり銘柄数が値上がり銘柄数を上回り、232銘柄が下落、173銘柄が上昇した。

出来高は引き続き高水準で、売買高は約7億6,820万株、売買代金は22兆6,600億（9億8,270万米ドル）だった。

大型株が下げを主導した。VN30指数は0.2%安の1,478.29ポイントで取引を終えた。同指数採用銘柄のうち、17銘柄が下落、10銘柄が上昇、3銘柄は変わらずだった。

業種別では、銀行、素材、不動産に売りが集中した。

同指数採用銘柄では、ベトナム投資開発銀行（BID）は-2.49%と最も売られた。他にはホアファットグループ（HPG）、ベトコムバンク（VCB）、テクコムバンク（TCB）、ヴィエティンバンク（CTG）、ビナミルク（VNM）がそれぞれ1%以上値を下げた。

ペトロリメックス（PLX）、モバイルワールドインベストメント（MWG）、ノブランド不動産投資（NVL）、FPTグループ（FPT）を含む公益、不動産、情報技術セクターに買いが入り、同指数を支えた。

「上は1374~1385ポイント、下は1,300~1,330ポイントの範囲でVN指数は上下しながら推移すると予想される」（バオベト証券）

「現在マーケットではセクターごとに銘柄選別が進んでいる。上昇局面の時にあまり買われなかった割安な中小型株や大型株に買いが入るだろう」（同証券会社）

ハノイ市場のHNX指数は大型株が軟調で0.78%高の316.24ポイントで取引を終えた。HNX30指数は0.65%高の502.24ポイントだった。

売買高は1億4,410万株以上で、売買代金は3兆2,000億ドンを超えた。

その一方で外国人投資家は両市場（ホーチミン、ハノイ市場）で合わせて1兆1,300億ドンを売り越した。そのうち、ホーチミン市場で約1兆1,000億ドン、ハノイ市場で337億2,000万を売り越した。

---

### ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Incorporated (JSI) から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。